

(様式第11)

### 高度の医療技術の開発及び評価の実績

#### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

#### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Interactive Cardiovasc Thorac surg 7:646-467	Extraanatomical ascending-abdominal aorta bypass with stump closure for aortic graft infection	相澤啓	心臓血管外科
胸部外科 61(8):662-666	適正輸血と輸血合併症	小西宏明	心臓血管外科
Genes to Cells 14(1):69-77	Genome-wide histone methylation profile for heart failure	金田るり	心臓血管外科

計 3

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

### 高度の医療技術の開発及び評価の実績

#### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
白血球-内皮相互反応の麻酔 よる外科治療低侵襲化	佐藤幸夫	呼吸器外科	110万円	補 委	文部科学省
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

#### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
胸部外科61(5):375-378	下位胸壁浸潤肺癌に対する胸腔鏡補助下胸壁合併肺葉切除術	遠藤俊輔	呼吸器外科
Ann Thorac Surg 87(2):e9-10	A dangerous venous variation in thoracoscopic right lower lobectomy	遠藤俊輔	呼吸器外科
外科研修チェックノート ・215-220	肺癌	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科61(10):866-866	まい・てくにつく;肺癌区域切除における区域間切離のコツ	遠藤俊輔	呼吸器外科
胸部外科61(11):993-995	血清ProGRPが異常高値を示した非定型的カルチノイドの1例	遠藤哲哉	呼吸器外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 14(4):205-209	Reexpansion pulmonary edema	蘇原泰則	呼吸器外科
臨床研修プラクティス 5(5):35-44	胸腔穿刺・胸腔ドレナージ	長谷川剛	呼吸器外科
Long life11(4):14-15	体に優しい手術～胸腔鏡下手術	佐藤幸夫	呼吸器外科
臨床研修プラクティス 5(5):45-46	再膨張性肺水腫	手塚憲志	呼吸器外科

計 9

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Lymphoma, vol. 50, p.290-293.	Prediction of response to imatinib in patients with chronic myelogenous leukemia by flow cytometric analysis of bone marrow blastic cell phenotypes.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Int J Hematol, vol. 88, p.351-354	Maintenance and preemptive therapy with ganciclovir for cytomegalovirus colitis with extremely high antigenemia in adult T-cell leukemia.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Oncogene, vol.28, p.231-242.	Bortezomib overcomes cell-adhesion-mediated drug resistance through downregulation of VLA-4 expression in multiple myeloma.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
Int J Hematol, vol. 88, p.351-354.	Sperm cryopreservation in patients with hematologic malignancies.	Kazuo Muroi	輸血・細胞移植部
臨床血液, vol.49, p.397-407.	Flow cytometryを用いた白血病の微小残存病変の検出.	室井一男	輸血・細胞移植部

計 5

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	
				補委	

計

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 35:273-276	当科における進展型小細胞肺癌に対する Amrubicin Hydrochloride単剤療法の検討	川上正敬	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:325-330	小細胞肺癌に合併し免疫グロブリン大量療法が奏 効した腫瘍随伴性小脳変性症の1例	川上正敬	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:379-384	気胸で発症した子宮平滑筋肉腫肺転移の1例	水品佳子	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:336-340	複数回のDLSTが被疑薬同定に有用であった propiverineによる薬剤性肺炎の1例	中山雅之	内科学講座 呼吸器内科学部門
日呼吸会誌 46:820-823	著明な末梢血好中球増多を示したミノサイクリンに よる急性好酸球性肺炎の1例	山沢英明	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respirology 13:263- 269	Torque teno virus DNA titre elevated in idiopathic pulmonary fibrosis with primary lung cancer	坂東政司	内科学講座 呼吸器内科学部門
Eur J Radiol 65:462- 267	Acute eosinophilic pneumonia: Thin-section CT findings in 29 patients	大門皇寿	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respirology 13:926- 928	Idiopathic pulmonary fibrosis—results from a Japanese nationwide epidemiological survey using individual clinical records	大野彰二	内科学講座 呼吸器内科学部門
PNAS 105 19893- 19897	A mouse model for EML4-ALK-positive lung cancer	曾田 学	内科学講座 呼吸器内科学部門
Respiration 75:350- 354	Drug-induced pneumonitis associated with imatinib mesylate in a patient with idiopathic pulmonary fibrosis	山沢英明	内科学講座 呼吸器内科学部門

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トキシコゲノミクス研究の臨床への展開	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	59,429,000	補委 厚生労働省
時計遺伝子に着目したインスリン抵抗性発症機序の機序解明	牛島 健太郎	薬理学講座 臨床薬理学部門	1,260,000	補委 文部科学省
日本臨床薬理学会認定制度を基本とした臨床研究体験型教育プログラムの開発研究	藤村 昭夫	薬理学講座 臨床薬理学部門	3,000,000	補委 厚生労働省
体内時計機能障害と関連する生活習慣病の病態解析	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	1,000,000	補委 (財)大和証券ヘルス財団
骨粗鬆症治療薬の時間治療の試み	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	2,000,000	補委 (財)臨床薬理研究振興財団
骨粗鬆症治療薬の有害反応を軽減する時間治療の試み	安藤 仁	薬理学講座 臨床薬理学部門	800,000	補委 (財)骨粗鬆症財団
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 6

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Exp Pharmacol Physiol 35:1012-1017, 2008	Effects of atorvastatin and pravastatin on glucose tolerance, adipokine levels and inflammatory markers in hypercholesterolaemic	Ando H	薬理学講座 臨床薬理学部門
Xenobiotica 38:1355- 1364, 2008	Human CYP3A4-introduced HepG2 cells: in vitro screening system of new chemicals for the evaluation of CYP3A4-inhibiting activity.	Araki N	薬理学講座 臨床薬理学部門
Br J Clin Pharmacol 65:442-443, 2008	Certified Clinical Pharmacologist Board, The Japanese Society of Clinical Pharmacology and Therapeutics. Current status of clinical	Fujimura A	薬理学講座 臨床薬理学部門
Eur J Pharmacol 596:166-172, 2008	Evaluation of the interaction between nonsteroidal anti-inflammatory drugs and methotrexate using human organic anion	Maeda A	薬理学講座 臨床薬理学部門
Chronobiol Int 25:808- 818, 2008	Dosing time-dependent effect of raloxifene on plasma fibrinogen concentration in ovariectomized rats.	Tsuruoka S	薬理学講座 臨床薬理学部門
Nephron Physiol 110:11-20, 2008	Mechanism of Cd-induced inhibition of Na-glucose cotransporter in rabbit proximal tubule cells: roles of luminal pH and membrane-bound	Tsuruoka S	薬理学講座 臨床薬理学部門

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Clin Hypertens (Greenwich) 2008;10:787-794	Cardiovascular risks of dipping status and chronic kidney disease in elderly Japanese hypertensive patients.	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1125-1133	Continued high risk of stroke in treated hypertensives in a general population: the Jichi Medical School Cohort study.	石川 鎮清 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1323-1330	Prevalence and determinants of prehypertension in a Japanese general population: the Jichi Medical School Cohort study	石川 陽子 荻尾 七臣	循環器内科
Clin Exp Hypertens 2008;30:255-265	Determinants of self-measured pulse rate profile in medicated hypertensives: the Jichi Morning Surge-1 (JMS-1) study	甲谷 友幸 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:817-821	Sleep-predominant lowering of ambulatory blood pressure by bedtime inhalation of a novel muscarinic M3 receptor antagonist: a new "Bronchoantihypertensive" strategy targeting the lung in hypertension with chronic obstructive	荻尾 七臣 島田 和幸	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:289-294	Factors associated with incident ischemic stroke in hospitalized heart failure patients: a pilot study	小森 孝洋 荻尾 七臣	循環器内科
Jichi Medical University Journal 2008;31:41-53.	A new portable, bedside apexcardiograph: Development of a prototype and initial clinical	黒木 茂広 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:627-632	Association of body mass index with cognitive function in elderly hypertensive Japanese	坂倉 健一 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:649-656.	The influence of wave reflection on left ventricular hypertrophy in hypertensive patients is modified by age and gender.	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
J Hypertens 2008;26:1463-1471	Effect of doxazosin on the left ventricular structure and function in morning hypertensive patients: the Japan Morning Surge 1 study	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
J Hypertens 2008;26:1928-1934	Monitoring of the central pulse pressure is useful for detecting cardiac overload during antiadrenergic treatment: the Japan Morning Surge 1 study.	松井 芳夫 荻尾 七臣	循環器内科
Ther Adv Cardiovasc Dis 2008;2:25-35.	Role of the augmentation index in hypertension.	志水 元洋 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:887-896	Effects of strict blood pressure control by a long-acting calcium channel blocker on brain natriuretic peptide and urinary albumin excretion rate in Japanese hypertensive patients	宇野 秀之 荻尾 七臣	循環器内科
Current Hypertension Reviews. 4:214-226, 2008	Blood pressure management in metabolic syndrome.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1491-1494	Unresolved issues of the morning blood pressure surge: the next stage of clinical applicability for the morning surge.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertension. 53:e1, 2008	Possible difference in the sympathetic activation on extreme dippers with or without exaggerated morning surge.	矢野 裕一朗 荻尾 七臣	循環器内科
Eur Heart J 2008;29:1729-1738	Determinants of thrombin generation, fibrinolytic activity, and endothelial dysfunction in patients on dual antiplatelet therapy: involvement of factors other than platelet aggregability in virchow's triad	矢野 裕一朗	循環器内科
自治医科大学紀要31:6, 2008	急性心筋梗塞に使用される2種類の機械的血栓除去デバイスの比較検討-溶血、不整脈、血管障害に関して	池野文昭	循環器内科
自律神経45:134-137, 2008.	Disrupted diurnal BP variation and cardiovascular disease in diabetes:relation to autonomic nervous system. 糖尿病における血圧および心血管疾患の日内変動の消失:自律神経障害との関連.	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
自治医科大学紀要 31:108, 2008	研究奨励金研究成果報告マウス胚性幹細胞における、Wnt刺激による効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野修市	循環器内科

計 27

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高血圧管理におけるガイドラインの遵守と目標達成後に関する研究	荻尾 七臣	循環器内科	120万円	補委 循環器病研究委託事業19公一8
我が国における脳卒中再発予防のための急性期内科治療戦略の確立に関する研究	荻尾 七臣	循環器内科	100万円	補委 厚生労働科学研究費
高血圧患者のモーニングサージと血管内皮機能、圧受容体反射の関連	甲谷 友幸	循環器内科	50万円	補委 H20年度自治医科大学医学部研究奨励金
マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野 修市	循環器内科	120万円	補委 H20年度 文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)(一般)
マウス胚性幹細胞を用いた、効率の良い心筋細胞への分化誘導法の開発	上野 修市	循環器内科	200万円	補委 武田科学振興財団「報彰基金」研究奨励金
難治性心不全に対する免疫吸着療法の開発	山本 啓二	循環器内科	100万円	補委 H20年度厚生労働科学研究費医療技術実用化総合研究事業(臨床研究・予防・治療技術開発研究事業)

計 6

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood Press Monit 2008;13:15-20	Cardiovascular prognosis of sustained and white-coat hypertension in patients with type 2 diabetes mellitus	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:443-450	Ambulatory blood pressure is a better marker than clinic blood pressure in predicting cardiovascular events in patients with/without type 2 diabetes.	江口 和男 荻尾 七臣	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:1331-1338	Cognitive dysfunction and physical disability are associated with mortality in extremely elderly	星出 聡 荻尾 七臣	循環器内科
Am J Hypertens 2008;21:968.	Determinants of nondipping in nocturnal blood pressure and specific nonpharmacological treatments for nocturnal hypertension.	星出 聡 荻尾 七臣	循環器内科
Geriatr Gerontol Int 2008;8:133-135.	Ischemic nephropathy in an elderly patient	星出 聡	循環器内科
Hypertens Res 2008;31:2045-2051	Plasma tissue inhibitor of matrix metalloproteinase-1 level is increased in normotensive non-dippers in association with impaired glucose metabolism.	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科
J Clin Hypertens (Greenwich) 2008;10:34-42	Relationship between morning hypertension identified by home blood pressure monitoring and brain natriuretic peptide and estimated glomerular filtration rate: The Japan Morning Surge 1 (JMS-1)	石川 譲治 荻尾 七臣	循環器内科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限り)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
摂食調節におけるホルモン感受性リパーゼの意義	石橋 俊	内分泌代謝学部門	1,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
原発性高脂血症に関する調査研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	900,000	補委 厚生労働省科学 研究費補助金
2型糖尿病患者のQOL、血管合併症及び 長期予後改善のための前向き研究	石橋 俊	内分泌代謝学部門	800,000	補委 厚生労働省科学 研究費補助金
安定同位体標識グルコース負荷試験による 包括的糖代謝解析の展開	長坂昌一郎	内分泌代謝学部門	1,170,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
マクロファージにおけるリポ蛋白リパーゼが 動脈硬化形成に及ぼす影響について	野牛 宏晃	内分泌代謝学部門	1,040,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
コレステロールアシル転移酵素アイソザイム ACAT2選択的阻害剤の開発	石橋 俊	内分泌代謝学部門	20,000,000	補委 独立行政法人 医薬基盤研究所
				補委
				補委
				補委
				補委

計 6

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res	Cholesterol reduction and atherosclerosis of inhibition by bezafibrate in low density lipoprotein receptor knockout mice.	Inaba, T., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Atheroscler Thromb	Pitavastatin decreases plasma pre $\beta$ 1-HDL concentration and might promote its disappearance rate in hypercholesterolemic patient.	Kawano, M., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Diabetes Obes Metab	Metformin, but not pioglitazone, decreases postchallenge plasma ghrelin levels in type 2 diabetic patients: a possible role in weight stability?	Kusaka, I., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
Biochem Biophys Res Commun	Induction of ABCA1 by overexpression of hormone-sensitive lipase in macrophages.	Tazoe, F., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Biol Chem	Identification of neutral cholesterol ester hydrolase, a key enzyme removing cholesterol from macrophages.	Okazaki, H., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門
J Lipid Res	Hormone-sensitive lipase is involved in hepatic cholesterol ester hydrolysis.	Sekiya, M., Ishibashi, S., et al	内分泌代謝学部門

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
自閉性障害における遺伝子発現プロファイリングによる共通分子機構の解析	桃井 真里子	小児科学	4,940,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基礎研究B
エピジェネティクス機構の解析を中心とした自閉性障害の病因遺伝子解明	山形 崇倫	小児科学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 基礎研究C
自閉性障害の病態に關与する遺伝子不活性化異常の解析	中島 尚美	小児科学	1,170,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
小児血管腫進展における血管内皮前駆細胞とVEGF、VEGF-Cの役割の解明	中村 幸恵	小児科学	2,340,000	補委 文部科学省科学研究費補助金 若手研究B
変異蛋白が誘導するストレスを原因とする神経(精神)筋疾患に対する治療候補化合物の開発に関する研究	桃井 真里子	小児科学	1,299,160	補委 厚生労働省 政策創成総合研究事業
先天代謝異常の診断ネットワークを介した長期予後追跡システムの構築	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 成育医療研究委託費
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 精神・神経疾患研究委託費
小児行動の二次元尺度化に基づく発達支援策の有効性定量評価に関する研究	杉江 秀夫	小児科学	1,500,000	補委 厚生労働省 障害保健福祉総合研究事業
「周産期母子医療センターネットワーク」による医療の質の評価と、フォローアップ・介入による改善・向上に関する研究	河野 由美	小児科学	3,000,000	補委 厚生労働省 子ども家庭総合研究事業
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	森 雅人	小児科学	1,000,000	補委 厚生労働省 治験推進研究事業

計 10

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児科学会雑誌	超低出生体重における甲状腺ホルモン補充療法	小宮山 真美	小児科学
日本小児科学会雑誌	保育園、幼稚園における与薬の実態と問題	清水 純	小児科学
日本小児アレルギー学会雑誌	栃木県における小児気管支喘息治療の実態調査	市橋 光	小児科学
日本周産期・新生児医学会雑誌	当院NICUにおける速乾性擦式消毒剤個人携帯 mupirocin非選択的全例塗布によるMRSA保菌抑制の試	青柳 順	小児科学
小児科臨床	mesodiverticular bandによるイレウスを合併した Meckel憩室の1例	関戸 真理恵	小児科学
小児科臨床	発達障害児への対応にかかわる医療・教育連携のあり方	杉江 秀夫	小児科学
小児科臨床	新生児期発症の原発性硬化性胆管炎	横山 孝二	小児科学

計 7

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
虚血・てんかんにおけるカルシウム代謝異常の細胞生理学的研究	小黒恵司	脳神経外科	1,690,000	補委 文部科学省
光トポによる失語症回復過程を支える脳内機序の解明	渡辺英寿	脳神経外科	5,720,000	補委 文部科学省
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	渡辺英寿	脳神経外科	700,000	補委 厚生労働省
パーキンソン病遺伝子治療臨床研究における安全性評価と positron emission tomography (PET) による有効性の評価	加藤正哉	脳神経外科	4,000,000	補委 厚生労働省
血行力学的ストレスの観点からの脳動脈瘤の病態	庄島正明	脳神経外科	1,000,000	補委 文部科学省
失語症における病態生理と機能回復過程の解析	渡辺英寿	脳神経外科	1,300,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
脳血管障害患者の機能回復過程における脳機能計測および解析	渡辺英寿	脳神経外科	1,898,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構

計 7

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Neuroscience 26:63-66, 2008	光トポグラフィーによるてんかん焦点診断	小黒恵司	脳神経外科
臨床脳波 50:173-179, 2008	正常圧水頭症の診断におけるNIRSの可能性	庄島正明	脳神経外科
臨床脳波 50:110-117, 2008	光トポグラフィーによる非浸襲的言語機能の計測	小黒恵司	脳神経外科
臨床脳波 50:38-46, 2008	酸素吸入光トポグラフィーによる脳虚血診断法	田中裕一	脳神経外科
神経内科 38:70-81, 2008	高次脳機能障害の画像診断	小黒恵司	脳神経外科
BRAIN and NERVE 60:547-553, 2008	酸素吸入光トポグラフィーによる脳虚血診断法の開発	海老原彰	脳神経外科
脳血管攣縮 24:5-10, 2008	光トポグラフィによる脳血管攣縮の早期診断の試み	田中裕一	脳神経外科

計 7

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Digestive Diseases 9 : 213-218	Clinicopathological study of lymph-node metastasis in 1389 patients with early gastric cancer : Assesment of indications for endoscopic resection. , 2008.	Haruta, H.	消化器・一般外科
Diseases of the Colon & Rectum 51 : 1529-1534	Colonoscopic stigmata of 1 mm or deeper submucosal invation in colorectal cancer.	Horie, H.	消化器・一般外科
Diseases of the Esophagus 21 : 275-278	A new operative technique for the resection of gastric tube cancer by means of lifting the anterior chest wall and videoscope-assisted surgery.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Gastric Cancer 11 : 123-126	Multiple gastric carcinoids associated with parietal cell hyperplasia : intraoperative detection with a radiolabeled somatostatin analog.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Journal of Endocrinology 197 : 221-229	Sub-chronic stimulation of glucocorticoid receptor impairs and mineralocorticoid receptor protects cytosolic Ca <sup>2+</sup> responses to glucose in pancreatic $\beta$ -cells.	Koizumi, M.	消化器・一般外科
Cancer Science 99(9) : 1835-1840	Chromosome copy number analysis in screening for prognosis-related genomic regions in colorectal carcinoma.	Kurashina, K.	消化器・一般外科
Surgery Today 38 : 20-25	Prevalence of synchronous colorectal neoplasms detected by colonoscopy in patients with gastric cancer.	Saito, S.	消化器・一般外科
Abdominal Imaging xx : 1-8	Preoperative virtual simulation of adrenal tumors.	Shiozawa, M.	消化器・一般外科
Diseases of the Colon & Rectum 51 : 196-201	Prospective observation of small adenomas in patients after colorectal cancer surgery though magnification chromocolonoscopy.	Togashi, K.	消化器・一般外科
癌の臨床55(2) : 121-126	下部直腸癌に対する術前放射線と即方郭清併用の有効性.	宮倉安幸	消化器・一般外科
JOP. 10 : 59-63	Pancreatic arteriovenous malformation : a case report of hemodynamic and three-demensional morphological analysis using multi-detector row computed tomography and post-processing methods.	Endo, K.	消化器・一般外科
Abdominal Imaging 34 : 113-120	Preoperative virtual simulation of adrenal tumors.	Shiozawa, M.	消化器・一般外科
Annals of Thoracic Surgery. 87(2) : 647-649	Esophagectomy and gastric pull-up in patients with previous free jejunal transfer.	Hosoya, Y.	消化器・一般外科
Gastrointestinal Endoscopy69(suppl 3) : 734-741	A comparison of conventional endoscopy, chromoendoscopy and optimal band imaging system for the differentiation of neoplastic versus non-neoplastic colonic polyps.	Togashi, K.	消化器・一般外科

計 22

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
長期臥床を必要とする傷病者に対するポータブル褥創防止デバイスの開発	堀江久永	消化器外科	2,200,000	補委 文部省科学研究費補助金(日本学術振興会)
大腸癌術後に前向きに経過観察された大腸腺腫の発生・増大に関わる遺伝子異常の検索	富樫一智	消化器外科	700,000	補委 文部省科学研究費補助金(日本学術振興会)
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本消化器外科学会雑誌41(10):1780-1784	化学放射線療法後救済手術を行った右側大動脈弓を伴う胸部食道癌の1例.	熊野秀俊	消化器・一般外科
栃木県医学会会誌38:93-98	消化器癌早期発見の最新の工夫と治療戦略.	細谷好則	消化器・一般外科
日本消化器外科学会雑誌41(6):711-716	急速に増大した腹腔内転移性悪性線維性組織球腫の1例.	宮倉安幸	消化器・一般外科
早期大腸癌12(4):395-399	NBI/FICE拡大観察によるpit pattern診断(6) pit pattern診断におけるFICE位置づけと今後の展望.	富樫一智	消化器・一般外科
胃と腸43(6):901-909	大腸の新しい内視鏡診断 FUJI Intelligent Color Enhancement (FICE).	富樫一智	消化器・一般外科
Gastroenterological Endoscopy50(6):1461-1465	大腸の内視鏡的粘膜切除で噴出性出血を来した輸血拒否患者の経験.	吉澤浩次	消化器・一般外科
腎と透析65(3):375-381	【知っておきたい最新の腎移植知識】再腎移植の適応とその問題点.	佐久間康成	消化器・一般外科
Medical Practice 25(臨増):433-442	【新・凶解救急・応急処置ガイド 救急・応急時に必ず役立つ基本手技と処置のすべて】緊急検査法 適応と読影 緊急エコー	安田是和	消化器・一般外科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
網膜への酸素負荷にともなう炎症反応について	茨木信博	眼科学	5,029,000	補委	日本私立学校振興・共催事業団
				補委	
				補委	

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
あたらしい眼科	自治医科大学緑内障外来にて交通事故の既往を認めた末期緑内障患者の2症例	青木由紀	眼科学
眼科臨床紀要	外斜視に移行した調節性内斜視の検討	保沢こずえ	眼科学
眼科臨床紀要	親血的に除去した内斜視を伴った瞳孔膜遺残の1例	牧野伸二	眼科学
眼科臨床紀要	乳児内斜視に対するプリズム治療後の視力	牧野伸二	眼科学
あたらしい眼科	内境界膜下出血、網膜下出血を伴ったTerson症候群の1例	牧野伸二	眼科学
あたらしい眼科	ロービジョン外来受診患者の読書能力	牧野伸二	眼科学
眼科臨床紀要	強膜バックリング術後の複視に対してMRIが有用であった1例	大河原百合子	眼科学
臨床眼科	自治医科大学眼科における時間外救急診療の統計的観察	佐々木誠	眼科学
眼科臨床紀要	日本人成人の眼球形状の左右差	杉紀人	眼科学
臨床眼科	成人の眼球形状の性差と年代による推移	杉紀人	眼科学
Japanese Journal of Ophthalmology	The additive effects on intraocular pressure of combining nipradilol 0.25% and latanoprost 0.005% ophthalmic solutions: a prospective, randomized, multicenter study	水流忠彦	眼科学

計 11

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がんの診断治療用光学機器の開発	山本博徳	光学医療センター	1,800千円	補委 厚労省科学研究費
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endoscopy 40(9): 779-783, 2008	Double-balloon endoscopy.	Yamamoto H	光学医療センター
Gastrointest Endosc 67(6): 830-839, 2008	Usefulness and safety of 0.4% sodium hyaluronate solution as a submucosal fluid "cushion" in endoscopic resection for gastric neoplasms: a prospective multicenter trial.	Yamamoto H	光学医療センター
Gastrointest Endosc Clin N Am 19(3): 325-333, 2008	Technology and indications.	Sunada K, Yamamoto H	光学医療センター

計 3

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

### 高度の医療技術の開発及び評価の実績

#### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児重症気管狭窄症に対するハイブリッド型気管移植法の開発	前田貢作	小児外科	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 1

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

#### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児科診療 71(4):601-607	胸部疾患：気道の先天性疾患	前田貢作	小児外科

計 1

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第11)

### 高度の医療技術の開発及び評価の実績

#### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	佐田尚宏	鏡視下手術部	580,000	補委 厚生労働省 医療技術実用化 総合研究事業
がん検診に有用な新しい腫瘍 マーカーの開発に関する調査研 究班	佐田尚宏	鏡視下手術部	3,000,000	補委 厚生労働省 第3次対がん総 合戦略研究事業
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計 2

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

#### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
治療薬・治療指針、東 京、羊土社、523-529	月経困難症、婦人科感染症.	藤原寛行	鏡視下手術部
臨床婦人科産科 62 : 1291-1296	進行期別の上皮性卵巣癌治療戦略.	藤原寛行	鏡視下手術部
最新医学・別冊 新しい 診断と治療のABC54消化器 8 膵炎・膵癌, pp100- 106	慢性膵炎 外科治療・予後.	佐田尚宏	鏡視下手術部
臨床外科63(12) : 1537- 1543	【十二指腸病変に対する外科的アプ ローチ】膵温存十二指腸第2・3部切除術.	佐田尚宏	鏡視下手術部
胆道22(4) : 581-590	胆道専門医講座 長期生存が可能なss胆 囊癌の基礎知識 診断の立場から CT 胆 囊癌のMD-CT診断.	佐田尚宏	鏡視下手術部
Int J Gynecol Cancer. 18(1) : 165-167	Omental metastasis in clinical stage I endometrioid carcinoma.	Fujiwara, H.	鏡視下手術部

計 6

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。